

令和7年度 第2回甲賀市図書館協議会 議事録

1. 日 時：令和7年12月24日（水） 午後7時～午後8時38分

2. 場 所：甲南図書交流館 視聴覚ホール

3. 出席者：【委員】 大西 正泰 地村 千里 柴田 康彦 奥田 叔代
 松本佐知子 山崎喜代美 中村ひろ子 山中 ルミ
 平林 秀樹 徳田 綾子
 【事務局】 福井理事 林課長
 香取館長 田中館長 井口館長 篠原館長 澤田館長
 小嶋係長
 【傍聴者】 なし

4. 次 第

- (1) 開会
- (2) 市民憲章の唱和
- (3) 開会挨拶
- (4) 協議事項
 - ①令和7年度甲賀市図書館サービスの点検・評価（自己評価）について
 - ②令和7年度甲賀市図書館事業経過報告について
 - ③令和7年度甲賀市図書館の利用に関する来館者アンケート調査結果報告について
- (5) その他

5. 内 容

- (1) 開会
- (2) 市民憲章の唱和
- (3) 理事あいさつ
- (4) 会長あいさつ
 - ・半年間の準備期間を経て、図書館利用者が交流できる場を作ろうという趣旨のもと11月に甲賀市図書館友の会を発足した。
 - ・委員の方で、興味のある方や事務局の方には、この甲賀市図書館友の会を支援いただき、長く続けられる活動としていきたい。
 - ・委員の皆様、本日の会議のスムーズな進行よろしくお願いします。

(5) 協議事項

(以降、会長により議事進行)

- ① 令和7年度甲賀市図書館サービスの点検・評価について
[事務局から説明]

会 長：今の説明について、意見・質問はないか。

委 員：今年は、自己評価ということだが、昨年度よりA評価が多く、良かった。ただ、目標値の設定がこれでよいと思う項目が見受けられる。次は新しい計画に基づく目標値になるので、目標値の設定について検討されたらどうか。

会 長：評価は確かに件数だけで測れるものではない。図書館では一生懸命取り組んでいて、結果が出ているのに、件数が足りないからC評価ではミスマッチ。件数だけで評価を決めるのではなく、評価値について、誰もがその理由がわかり、納得できるような評価となるように願う。今後、目標値の設定について再考の必要性があるのではないかと思うので工夫をしていただきたい。

事務局：承知しました。

委 員：学習支援パックについて。どのようなルートで利用されるのか。大変便利でありがたい取り組みだと思うが、小学校は若い先生も多く、取り組みを知らない先生もいるのではないかと危惧している。もっとPRをされてはどうか。

事務局：4月に、学校司書と図書主任の会議に出席し支援パックについての説明を行っており、必要に応じてFAX等で申し込んでいただいているが、さらにPRしていく。

委 員：先日、図書館の方に紹介していただいた岐阜の図書館に行ってきた。10月だったので、ハロウィンの展示があり、老若男女の方が来館されていた。市内には5つの図書館があるのだから、それぞれの館の特色や市外の図書館の紹介なども交えてPRすれば利用者が増加するのではと考える。記事の作成も大変だとは思いますが、「あの図書館良かったよ」などの記事を掲載してみてはどうか。

会 長：図書館友の会では、次年度、いろいろな図書館を回することで、甲賀市の図書館の良さを外から発見するような取り組みも考えている。

委 員：貸出冊数が伸びていないとの事だが、甲南は、先月蔵書点検があり1週間閉館した後に来た時、たくさんの方が来館されていて、びっくりした。皆さん、図書館が開くのを待っていたと思う。

事務局：一人当たりの貸出冊数は減少しているが、それだけでは測れないものもある。魅力のある本を置き、PRしていくことで利用者の増加を図りたい。SNSなど様々な媒体を活用し、PRしていきたい。

委 員：市外の図書館に勤務しているが、確かに、本の表紙を見せることで手に取る人は増えると思う。スペースの問題もあるが、面だしを増やすと良い。

事務局：図書館では、毎月毎にテーマを決め、展示コーナーを作っている。その際には、表紙を見せるよう努めているが、今後も引き続き、本を手にとっていただけるよう工夫していきたい。

委 員：今月、甲南で「人権」についての展示がされている。私も普段手にとらないような本を読み、世界が広がった。

②令和7年度甲賀市図書館事業経過報告について

〔事務局から説明〕

会 長：私は、ボランティアグループ「ビブリオバトル in koka サポーターズ」でビブリ

オバトルを開催しているが、今年度から市で開催するビブリオバトルが年2回から年1回になった。事前に聞いていなかったため、サポーターズの会員も大変がっかりしている。1回になった経緯を知りたい。もし、市としてビブリオバトルの事業効果がないためなら止めても良いが、何が課題なのか、ビブリオバトルをどのように考えているのか市としての考えを聞きたい。

事務局：前回の会議において、事業計画でお示ししていたが、口頭での説明はできていなかった。事前にサポーターの方々と協議すべきところ、連携ができていなかったこと、お詫びする。次年度の事業計画については、毎年、実務担当職員で協議しているが、年々、事業が増加する一方でスクラップができていない状況。職員数も限られており事業自体のクオリティ維持も困難な状態である。ビブリオバトルについては、止めるつもりは全くなく、重要な事業であると認識しているが、サポーターズの方々と開催していただいていることもあり、複数回開催している図書館開催のビブリオバトルを1回にした。

会 長：年1回の開催では、市内すべてを回るのに5年を要する。職員の負担が大きいなら、サポーターズの方に事前協議があれば良かったが、協議がないまま、1回になったことは、メンバーのモチベーションが保てない。事業を継続するなら、事前に協議をすることで、手法を変えるなどの提案もできる。

事務局：改めてサポーターズの方と協議させていただく。

委 員：移動図書館について、私のイメージでは、本の偏りを感じており、あまり魅力的ではないように感じている。木育フェスタでは、どのような方が利用されたのか。新しい方が多いのか。

事務局：木育フェスタでは、既に図書カードを所持されている方が多かった。移動図書館車にある本だけでなく、追加で本を持っていき、机を用意して本を並べた。選書については、例えば、今回の木育フェスタなら工作関係などイベントに関係する本や絵本などを選定した。その他、移動先の場所によって、年齢層なども考慮しながら選定している。

③令和7年度甲賀市図書館の利用に関する来館者アンケート調査結果報告について [事務局から説明]

会 長：今の説明について、意見・質問はないか。

委 員：各図書館によって、本の配置方法が違うため違和感がある。著者毎に配置されている館や小説・エッセイなどジャンル毎に配置されている館もあるが、市内統一できないか。

事務局：現状では、各館のスペースにも差があり、統一することは難しい。しかし、図書館によって本の探し方が違うというのは、利用者の方にとっては困惑される場合もある。限られたスペースで利用者の方々に見やすい工夫として、サインを共通化するなどの工夫を実施している。今後も、各館のスペースに応じて、できる範囲で工夫していく。

委 員：全体的に、良いことが多く記載されていることが印象的。施設面についての要望

も多い。開館から相当年月が経過しているが、今後も教育委員会の方でしっかりと管理をお願いする。9月にある館へ行った際、カウンターで利用者の方が職員に、「空調が直って良かったね」「職員の方が大変だったね」と声をかけられていた。

委員：子どもが大声を出していても、職員の注意などの声かけはあまり見ない。図書館は静かな場所であってほしいという考える人もいれば、ある程度の声は仕方ないと思う人もいるが、図書館としての考え方はどうか。

事務局：幅広い年代の方が集まっている空間であり、図書館に対する考え方も様々だと理解している。安全上の問題がある場合は声掛けをしているが、迷惑行為のラインについて取り決めたマニュアルはない。理想としては、互いに許容しあい、同じ空間を楽しむことと考えている。

会長：記載されている意見・要望の回答についてはどのようにアウトプットするのか。

事務局：自由記述でいただいた意見・要望については、実務担当者と協議し、改善できるものは改善していく。大きな課題については、施設改修や次期計画に盛り込むなどできればと考える。

会長：要望を記載した利用者も、書きっぱなしではなく、図書館の答えがある方が対応してもらえているという思いがある。図書館の考え方を示せばよいと思うので、是非、検討を願う。

事務局：承知しました。

(7) その他

① 次回会議の予定について

令和8年3月開催予定

会長：その他、委員の方から何かあればどうぞ。

委員：所属している「朗読グループみみずく」からお知らせする。昨年度に引き続き、今年度も2月21と28日に震災を語り継ぐ朗読会を開催する。ぜひ、お越しいただきたい。

委員：学校コミュニティスクールで図書館の手伝いをしている。学校司書の方は、毎日出勤されるわけではなく、週2日で短時間勤務のため、いろいろな取り組みをするにも時間的に限りがあると聞いている。市も財政的に厳しいとは思いますが、1校に1人の司書を雇用していただきたい。

事務局：主管課に伝えます。

会長：以上で議事を終了する。

6. 閉会

副会長あいさつ

- ・先日、県立図書館で開催された各市町の図書館協議会交流会に参加した。しが子ども読書活動推進協議会の会長である小野田文雄先生の講演があった。

- ・ 1963年、学校図書館に司書教諭を置くとなったが、必ず置かなければならないということではなかった。2003年から全ての学校に司書を置くとなり、実に50年の年月を要したとの話があった。
- ・ YouTube で、漫才師のロザンの読書推進協議会という番組の紹介があり、公共図書館の案内、各学校の取り組みや県立図書館の書庫見学など様々な紹介がある。図書館を知ることができて良い番組だと感じた。皆さんも一度視聴されたらと思う。
- ・ 交流会で湖南省の図書館の方と話した際、27日まで、「聴導犬ポッキーいつもいっしょ」という絵本の原画展を開催されているとのことなので紹介する。
- ・ 本日は、お疲れ様でした。